

除角時の疼痛コントロール

鎮静剤・局所麻酔・消炎鎮痛剤をうまく使う

除角は牛にとっても人にとってもストレスフルなイベントです。方法は「焼きごてで焼く」「切ってから焼きごてで焼く」「薬品（除角ペースト）を使う」などがあります。計画的に除角をおこなえるのなら2カ月令以内の除角をお勧めします。大きくなってからでは作業も大変になり、また牛への外科的侵襲も大きくなります。除角時の痛みは計り知れないものがあります。その痛みは数日間持続すると云われ、このイベントを境に子牛と人間との関係も悪くなります。そこでぜひ今後皆さんにやってもらいたいのが「鎮静剤・局所麻酔薬・消炎鎮痛剤をつかった除角」です。



除角後24時間の増体

鎮痛剤あり **1.2 kg ± 0.4 kg**

鎮痛剤なし **0.2 kg ± 0.4 kg**

Reducing Pain After Dehorning in Dairy Calves D. M. Weary 2000

左のデータは鎮静剤と局所麻酔薬の投与下での除角をおこない、その後消炎鎮痛剤（痛み止め）を打つ打たないかでグループ分けをし除角後24時間での増体量を比較したものです。消炎鎮痛剤を打つ打たないでもこれだけの差が出ています。通常おこなわれている鎮静剤も局所麻酔薬も使われない除角の場合、もっと長期間にわたって大きな損害が出ていることは容易に想像できます。

薬品の入手は獣医師の適切な処方があれば農家さんが自分の牛を除角する際にこれらの薬品を使うのは違法ではありません。

この疼痛コントロールは子牛だけが恩恵を受けるものではなく、**除角作業が驚くほど楽にできるようになる**ことから人間も非常に大きな恩恵を受けます。本当にモクシ1本つかわずに独りで除角ができます。

手順を以下に示しますが、実際におこなう際には一度獣医師に相談ください。

①まずは鎮静剤を筋注。
1ヶ月令くらいの子牛なら1～2mlで十分です。
3分でクッタと寝ます。



②目じりと角を結ぶ線の中に局所麻酔薬（キシロカイン各3mlづつ）を皮下注射します。うった所がブクッとふくれるのが皮下注射です。



③3分で完全に痛覚がなくなります。焼きごてを当ててもピクリとも動きません。



④最後に消炎鎮痛剤（メタカム1.5ml）を筋注します。ロープ1本使わずに独りで除角ができます。非常に楽です。

